

## まえがき

近年、物流国際化の動きに対応するため、我が国においても車両の大型化に対する要請が強まっている。しかしながら、車両の大型化は、橋梁等の道路構造物に重大な影響を及ぼすため、検討にあたっては、その影響を適切に考慮する必要がある。

一方、最近では、乗員の疲労や積荷の損傷を軽減するため、車両振動の低減効果の高いエアサスペンションを搭載した大型車が増加している。国総研道路構造物管理研究室では、橋梁をはじめとする道路構造物の活用と保全を図るため、これまで、代表的な3軸トラック(単車)およびISO規格国際海上コンテナ搭載トレーラを対象として、駆動軸のサスペンション特性の異なる大型車が道路構造物に及ぼす影響に関する調査を行い、その基礎的特性を明らかにしてきた。

本研究では、構造上の多様性を有するセミトレーラ形式の車種を対象に、トレーラ部の構造諸元の変化と2軸トラックの駆動軸が道路構造物に及ぼす影響との関係について、基礎的な特性を明らかにするため、実車を用いた走行試験等を実施した。

本報告書は、この研究の成果をとりまとめたものである。